

2013年5月31日

私立大学図書館協会西地区部会
京都地区協議会加盟館
図書館長 殿

私立大学図書館協会
西地区部会京都地区協議会
2013年度第1回研究会
当番校 仁愛大学附属図書館
(公印省略)

2013年度私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会
第1回研究会開催について(ご案内)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の研究会を下記の要領で開催致します。皆様方には校務ご多忙の時期とは存じますが、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 2013年7月26日(金)13時50分～16時30分

2. 会 場 メルパルク京都 4階 研修室5(萩)

京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676 番 13

(JR 京都駅(烏丸中央口)から東へ約1分)

交通アクセスは、<http://www.mielparque.jp/kyoto/> を参考にしてください。

3. 申込締切 2013年6月26日(水)

添付の「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、下記受付担当校宛に Fax
またはメールにてご返送ください。

4. 受付担当校 畿央大学図書館 (担当: 笹井・大久)

Tel: (0745)54-1601

Fax: (0745) 54-1600

E-mail: tosyokan@kio.ac.jp

以上

2013 年度私立大学図書館協会西地区部会
京都地区協議会第 1 回研究会 プログラム

【日 時】 2013 年 7 月 26 日 (金) 13:50 ~ 16:30

【場 所】 メルパルク京都 4 階 研修室 5 (萩)

【テーマ】 「図書館の防災と資料保存」

【スケジュール】

13:20 ~ 13:50 受付

13:50 ~ 14:00 開会挨拶 連絡、講師紹介等

14:00 ~ 15:00 講演 (1) 「東日本大震災からみる防災と被災資料の救助・復旧」

講師： 国文学研究資料館研究部准教授 青木 睦 氏

講演要旨：

東日本大震災、直接現地に赴いて被災支援を行った博物館・図書館・アーカイブズ資料の一部の事例である。各地で何らかの災害によって多くの歴史文化情報資源が消滅しているのがある。これらの災害時には、いつも国文学研究資料館の同僚とともにレスキューで協働してきた。「これまでの災害から学んだことは、第一にしっかりとした不断=日常の保存管理こそ、優れた危機管理、万全の防災対策であり、第二に災害に見舞われたときには、受援のための心の準備と支援ネットワークの必要性である」という教訓を得た。

本講演では、国文学研究資料館が関わった大津波被害の歴史文化情報資源のレスキューの事例を中心に報告する。加えて、文化庁「東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業（文化財レスキュー事業）」や全国的規模での大学・研究機関、博物館・図書館・アーカイブズ、文化財関係行政機関等が連携してどのように歴史・文化等の情報資源を救助・復旧活動を行ってきたか、また、研究教育文化行政、公文書管理行政の課題や全国規模で人間文化研究に関わる歴史・文化等の情報資源をどのように蓄積・保存すべきかについて話しておきたい。

15:00 ~ 15:15 休憩

15:15 ~ 16:15 講演 (2) 「図書館の日常業務における資料保存について」

講師： 国文学研究資料館研究部准教授 青木 睦 氏

講演要旨：

図書資料・アーカイブズをモノとして物理的に保存するため、どのような考え方と実践がアーキビストに求められるのか、基本となる保存理論から保存修復の具体的処置までの保存修復システムを総合的に考える。特にここでは保存担当者（プリザベーション・アドミニストレーター）として必須である保存科学的な保存方法や最新の保存修復技術、史料の利用提供について理解を深めることを目的とする。

16:15 ~ 16:30 質疑・応答

16:30 閉会

送 信 票

宛先：畿央大学図書館	
Fax： (0745)-54-1600	E-mail： tosyokan@kio.ac.jp

貴館名：	
Fax：	Tel：

2013 年度私立大学図書館協会西地区部会
京都地区協議会第 1 回研究会 参加申込書

参加される方のお名前をご記入ください。

職 名	氏 名	備 考

* 所定事項にご記入の上、6 月 26 日（水）までに Fax または E-mail のいずれかの方法でお申し込みください。